

## つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

## 2月6日(日) インターシティーミーティング報告

## 第6分区インターシティーミーティング 報告

2月6日(日) つくば市のホテルグランド東雲におきまして、国際ロータリー第2820地区第6分区のインターシティーミーティング(以下:IM)が開催されました。当日は多くの皆様にお集まりいただきまして、盛大に開催することができました。ありがとうございました。

大会テーマ: **楽しくなければロータリーじゃない  
「素敵な仲間を作りましょう！」**

ここで来賓の皆様のお名前を掲載させていただきます。

国際ロータリー第2820地区ガバナー	山崎清司様
国際ロータリー第2820地区第6分区IMリーダー	永井靖彦様
国際ロータリー第2820地区パストガバナー	内藤 彰様
国際ロータリー第2820地区パストガバナー	吉岡昭文様
地区大会実行委員	鈴木路雄様
	江口達司様
	福富好一様

そして第6分区の会員の皆様にも多数ご参加いただきました。

石岡ロータリークラブ・土浦ロータリークラブ・土浦南ロータリークラブ  
石岡87ロータリークラブ・土浦中央ロータリークラブ・つくばシティーロータリークラブ  
かすみがうらロータリークラブ・阿見ロータリークラブ・つくばサンライズロータリークラブ  
つくば学園ロータリークラブ



左の写真は、点鐘をする野堀喜作ガバナー補佐です。

右の写真は、大会会場内の写真です。





## 歓迎のことば 野堀喜作ガバナー補佐



歓迎のことばを述べる  
野堀喜作ガバナー補佐

### 野堀喜作ガバナー補佐挨拶

本日は、インターシティミーティング（以下IM）にたくさんの皆様にご出席いただきましてありがとうございました。

山崎清司ガバナー、IMリーダーの永井靖彦パストガバナー、内藤彰パストガバナー、吉岡昭文パストガバナー、そして私たちの仲間であります第6分区の会長・幹事の皆様、会員の皆様にご出席いただきまして本当にありがとうございました。

私は、去年の3月位にガバナー補佐に任命されまして、皆様のところにガバナー任命のご挨拶や公式訪問でお邪魔をさせていただきまして、親しい仲間がたくさんできましたことに心から感激しております。

普段であればこのIMとGSEの交流会が終了すればガバナー補佐を卒業できると考えておりました。本日はその卒業式と考え、背広も新調いたしました。（本当はクリーニングで済ませました。）しかしながら、今年の1月初旬にガバナーノミニーに推薦していただきました。今後も第6分区の仲間の皆さんに支えていただきながら頑張りたいと思います。

今年のIMのテーマは、「楽しくなければロータリーじゃない・・・素敵な仲間を作りましょう！」です。私たちつくば学園RCも力を合わせて、昼間は皆様がたにたくさん勉強をしていただき、夜はロータリーの友情をますます深めていただき、幸せになって帰っていただけるように一生懸命企画してまいりました。

今日一日が、皆様に非常にためになったし、楽しかったと言っただけのように頑張ってお詫言いたします。今後ともいろいろとお世話になるとは思いますが、その節にはご協力よろしくお願いいたします。

本日はよろしくお願いいたします。

## 歓迎のことば つくば学園RC川崎庄一会長



歓迎のことばを述べる  
川崎庄一つくば学園RC会長

### 川崎庄一つくば学園RC会長挨拶

皆さんこんにちは。歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日国際ロータリー第2820地区第6分区IMを、山崎清司ガバナー、永井靖彦IMリーダーをはじめとして、分区の大勢の皆様にご参加いただき開催できることを、ホストクラブといたしまして心より歓迎いたします。

本日のテーマは「楽しくなければロータリーじゃない・・・素敵な仲間を作りましょう！」でございます。本日のIMを通じまして分区の会員の皆様が親睦の絆をますます深めていただきたいと思います。

楽しい1日となりますよう、ホストクラブ一同力を合わせていきたいと思っております。

本日は、よろしくお願いいたします。



## 来賓挨拶 山崎清司ガバナー



来賓挨拶をする山崎清司ガバナー

### 山崎清司ガバナー挨拶

皆様こんにちは。2010-11年度ガバナーの山崎清司でございます。

新たな2011年を迎えられ、第6分区の親愛なる皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

本日は永井靖彦パストガバナーをIMリーダーとして、野堀喜作ガバナー補佐のもと、上野修IM実行委員長を中心につくば学園ロータリークラブがホストとなり、第6分区IMが区内10クラブ全員の参加でかくも盛大に開催されますことはまさに大きな慶事でございます。

また私も公式訪問を通じて知り合ったすばらしい仲間と再会でき、歓談できる機会をいただきましたことはまことに光

栄でございます。

皆様ご承知のようにIM (Intercity Meeting) は都市連合会と呼ばれております。近隣都市の数クラブが集まってロータリー情報及び与えられたテーマの研究・討論そして会員相互の親睦や相互理解の増進等その目的は多岐にわたります。

2010-11年度RIテーマは「地域を育み 大陸をつなぐ」です。これは地域社会における奉仕活動の推進が、地域を育て、地域の活性化に役立つと説明しております。またこれらの奉仕活動に他団体や他サークルを巻き込むことでロータリアン以外の人にもロータリーを説明でき、ロータリーの活動を理解していただく近道であると説いております。理解者の拡大が、ロータリーの公共イメージの向上や広報にもつながります。そして我々の世界的親交によってロータリーの人道的プログラム、教育的プログラム、職業的プログラムの実施が国際間の理解と親善につながり、大陸に平和の架け橋を構築することができるのです。これにはすべて行動が必要です。頭の中でその理論、理想の重要性を認識していても行動しなくては何の意味もないのです。行動するロータリアンになりましょう。奉仕の現場に立ちましょう。そこにはすばらしい感動がまっています。

今回のIMのテーマは「楽しくなければロータリーじゃない・・・素敵な仲間を作りましょう！」と題し、会員増強・会員維持を重要課題とし、皆様と親睦を深めながら、会員増強・退会防止を含めた、充実したロータリーの会合を今一度皆様と考えることを「IM」のテーマといたしました。

ロータリーの情報を分かち合いながら楽しく有意義なIMになることに興奮しております。

また、私の年度の野堀喜作ガバナー補佐がガバナーノミネーといたしまして、2012-13年度の第2820地区のガバナーに就任いたします。私も一生懸命応援致します。第6分区を代表いたしまして、皆様方のご支援も切にお願いする次第でございます。

私も今日一日、皆様と一緒にしっかりと勉強したいと思っております。そして懇親会では皆様と楽しく過ごしたいと思っております。

最後に会員諸氏のご健康とご健勝をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

本日は半日間よろしくお願ひいたします。



来賓席の山崎清司ガバナーと永井靖彦第6分区IMリーダー



## 来賓挨拶 永井靖彦第6分区IMリーダー



来賓挨拶をする  
永井靖彦第6分区IMリーダー

### 永井靖彦第6分区IMリーダー挨拶

第6分区IMリーダーの永井靖彦でございます。第6分区の皆様方には大変久しくお会いできる機会がございませんでした。

第6分区といいますのは、ガバナーが終わりますと翌年より第1分区からIMリーダーを仰せつかります。つまり私は、ガバナーが終わって6年が経過したということになります。

本日のIMに参加いただきました会員の皆様のお顔を拝見しますと、ますますご健勝のことと拝察いたします。

本日のIMは、山崎清司をご来賓に迎えられ、第6分区の野堀喜作ガバナー補佐のもとに、上野修IM実行委員長を中心につくば学園RCのホストによる第6分区のIMがこのように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。あわせて

このIMのご成功を心よりお祈りを申し上げます。また、私はIMリーダーとしてこの第6分区に参加させていただきましたことを大変光栄に思っております。

さて第6分区は、会員増強・退会防止ということを含めました「楽しくなければロータリーじゃない・・・素敵な仲間を作りましょう！」をIMのテーマにされました。これは会員増強も含まれておりますが、会員の維持をさらに進めるためにも、親睦と友愛をさらに深く相互に感じあおうという意味が強いと思います。これは山崎清司ガバナーが提唱していることでもあります。この時期に素敵な仲間を作りましょうということで楽しいつまりエンジョイ・ロータリーをテーマとして掲げました。これはまことに的をえたテーマでありまして、大変意味深い言葉が含まれております。

ロータリーは100余年の歴史を刻み、世界200以上の国と地域に34,000を超えるクラブがあり、会員数は実に122万人を擁しております。私たちは、共に喜び共誇りと思っております。順調に拡大し成長してきたロータリーではありますが、ここ10年は世界の会員数が頭打ちとなり、特に我が国の会員数は目を覆うばかりでございます。どうしても会員の減少に歯止めがかかりません。

今から10数年前の1996-97年度RI会長をルイス・ピセンテ・ジアイ氏が務めました。この時のRIテーマが「築け未来を 行動力と先見の眼で」でした。まさに会員増強とロータリーの奉仕活動を世界的に広めていこうというテーマを選ばれました。ところがその当時の日本のロータリアン数は134,700人を超えておりました。そして2007年の6月に100,000人を割ってしまいました。そして昨年2010年10月現在の会員数は91,270名前後であり、このままいくと90,000人を割ってしまうだろうといわれております。1996年度の会員数から比べますと実に30%減少したことになります。これは世界的な傾向ではありますが、さらに減少は進んでおりますから、おそらく2011年度には間違いなく90,000人は割るだろうと危惧されております。

特に会員数の減少は先進諸国で顕著です。アメリカ、日本、韓国などです。今こそ私たちは真の会員増強を目指さなければならないのです。今回の「楽しくなければロータリーじゃない・・・素敵な仲間を作りましょう！」というスローガンのもとに、この第6分区のクラブの皆様方が一致団結をしてこの会員増強に、または友愛・親睦に取り組んでいただければ幸いです。

本日のIMの開催が皆様にとって大変意義の深い大会になることを期待しております。

このIMの設営・準備に当たり野堀喜作ガバナー補佐、上野修IM実行委員長、川崎庄一つくば学園RC会長、そして特に関係担当クラブの会員の皆様の大変なご尽力に深く・厚く感謝を申し上げます。挨拶といたします。ありがとうございます。



# 2月6日 IM設営準備スナップ



IMの設営に当たり準備にいそむつくば学園RCのメンバーと、お忙しい中ご出席賜りました来賓の方々のお写真です。本日はご出席ありがとうございます。





## 2月6日 IM会場スナップ



IMがスタートしました。来賓の方々や第6分区の皆様方をお招きして盛大に開催することができました。改めてロータリーの友情を感じます。友愛コーナーも好評でした。





## 講演①



講演「趣味を仕事にする」をお話いただいた角謙二様

### 「趣味を仕事にする」

(株)柘出版社 代表取締役社長 角 謙二様

私は福岡の大牟田で生まれました。父親の仕事の関係で、小学校入学前に千葉の茂原に転勤してまいりました。この茂原で小・中・高を過ごしましたが、この経験が今の私の仕事に生かされております。

例えば近所に双葉電子（ラジコンのプロポを作成している会社）がありました。目の前が飛行機のテスト飛行をする場所で、見に行き質問しているうちにその機体をいただいて自分たちで改造して飛ばしておりました。また、高校時代は御宿勝浦の学区でしたので、友人の家に行くと目の前に海があり、波乗りで遊んでおりました。さらに農家のご息が多かったので、バイクを所有している友人が多く、オートバイ

も乗り放題でした。しかもすぐ横に日立の寮があり、ここには学卒の方が多く住んでおりました。この方々は、趣味にお金をかける方が多くいらっしゃいました。そこでオーディオのことや自転車や登山のことなどを教わりました。このような環境で育ったことが今の仕事に生きております。大学もほとんど学校に行かず、海にいたり山に行ったりと遊んでばかりいました。大学を卒業して出版社に入社しました。入社した出版社は、業界の中でも特殊な出版社で、気づいてみると今まで趣味にしていたことを本にして生計を立てているような状況であります。

出版業界の現状をお話ししますと、斜陽産業の代表格です。それは紙を媒体にしている書籍の売り上げは右肩下がりです。雑誌は13年連続マイナスです。昨年創刊・復刊された雑誌は110点で過去40年の内で最少でした。逆に休刊・廃刊は216点でした。また、書店数は10年間で6,880件減少しました。雑誌出版業界にとって一番痛いのはこの書店数の減少です。実は床面積的にはほとんど減っておりませんが書店数は減っております。それは駅地価の小さな書店がなく無くなっていることを示しております。そういう書店ほど雑誌の売り上げに対する依存度が高いのです。

さらに書籍の販売形態も変化してまいりました。それは店頭販売ではなくネット販売の増加です。アマゾンや楽天ブックスやセブンアイが売上を増加させております。このような流れの中で大日本印刷が、書店の改革に乗り出しました。書店や出版社やNTTドコモと組んでデジタルと書籍を両方販売するハイブリッド書店を進めております。現在アメリカではデジタル文庫が書籍文庫を上回っております。ただし出版社はすべてがデジタル化されるのあと5年かかるだろうと考えております。我々コンテンツホルダーとしてはメディアが紙になるのかデジタルになるのかの問題ですから、早く方向性を決めてほしいというのが実情です。

このような業界の現状の中で柘出版社がどうしていくのかをお話しいたします。柘出版社は自分たちの好きなことを仕事にしております。通常出版社は自社内にスタジオやデザイナーやカメラマンや場合によっては編集者も持ちません。しかし、コンテンツをいろいろな形態で使用することを考えた場合、コンテンツを自社で所有していないことが問題となってまいりました。ただし柘出版はビジネスになるか否かの視点ではなく、やりたいことをするために人が集まってきた集団ですので、ビジネスにならなそうなことを知恵を絞って工夫をしてビジネスにまいりました。例えば通常編集者は自分で文章を書くことはありませんが、弊社では編集者が自分で文章を書きます。なぜかという自分の好きなことを自分で表現したいという意識があるためです。また、自分たちのデザインで仕事をしたいと考えてデザイナーを採用しました。現在では他社からの業務委託も受注しております。それぞれの部門が独立採算できるところまで育ってまいりました。



## 講演②



講演される角謙二様

### 「趣味を仕事にする」 続き

入社希望者も何かを発信がしたい、新しいことをやりたいという希望を持った方々です。そのため新卒の採用試験はキャンプです。なぜキャンプかという人間力が見えるからです。机上の理論ではなく、考え方やリーダーシップや行動力などをよく見ることができます。新しい人材を入れないと組織が年をとって、新しいことへのチャレンジがなされなくなるので、採用には力を注いでおります。

今業績を伸ばしている出版社のほとんどは新しい出版社です。その理由は、今までしていなかったことにチャレンジし、身を削る思いで新しいものを作っているからです。新しいことをして失敗を重ねて失敗した数だけ成長することを信

じて人を育てないと、出版業界では生きていけません。

平均年齢が上がることによる弊害の例を紹介いたします。ゴルフ業界と登山業界です。この業界を趣味にされている方の平均年齢は60歳前後だと思います。20年後を考えた時、若い方々を巻き込まないと衰退することが目に見えております。ところが何の手立ても講じておりません。例えば若い人に安く施設を提供したり、排他的な雰囲気や排除するような対策です。業界が衰退するとそれに対する雑誌（専門誌）が売れなくなってしまいます。そのため若い人たちをターゲットに絞った専門誌を発行いたしました。成功したのが楽園ゴルフという女性用のフリーペーパーとランドネという山ガール向けの雑誌です。この2誌によってそれまであまり見受けられなかった女性の取り込みに成功いたしましたし、関連してファッション系の販売向上にも結び付けました。

今は若者の嗜好性が変わってきたことを感じております。今の若者たちは実際に行動に移さずにバーチャルで終わっている傾向が見受けられます。実際に行動し実際に手にとって触ってみる、ここに楽しみがあるんだということを知らしめてあげたい。それが今懸念していることで、若者たちにいいものに実際触れていいものを認識してもらおうための興味を喚起することを目指しています。先日中国に行ってまいりました。中国の若者には、日本の同世代の若者と会うより非常に楽しさを覚えました。中国の若者は、人や物や金はあるが、足りないのはソフトだと認識しております。ソフトを入手するのに躍起なのです。それが若者のやる気を引き出しております。中国と今後付き合っていくためには、コンテンツ自体の輸出ではなく、本の作り方、写真の撮り方、デザインの仕方などの仕方の部分を伝えていくことだと感じております。

中国でソフトが不足しているのと同じように、現在の日本でもソフトを考えると人たちが不足していると感じております。ブランディングのプランニングを強化しなければなりません。どれだけ自由な発想で自由なことを考えて好き勝手なことを言ってるかという仕事です。今までビジネスにならなかったことが今やっと認められるようになりました。つまり他者との差別化戦略です。この仕事が実際弊社でも増えてまいりました。実際には建築事業部がそれにあたります。つまり雑誌に載っているような店舗を作りたいという相談に対して、コンセプトをはじめとした実際の建築設計まで請け負うためにこの事業部を立ち上げました。

現在の社会では、目の前の成果に重きを置きすぎていると思います。



講演される角謙二様

講演③



スライドを使っでの講演です

「趣味を仕事にする」続き

私たちは目先の成果にはあまりこだわらないようにしております。現在赤字であっても、将来その仕事で飯を食っている経験をたくさんいただきました。例えばライトニングという雑誌があります。これは所ジョージさんが作った雑誌です。まったく売れませんでしたので版權を買って欲しくないかの申し出がございまして、購入させていただきました。購入後6年ほどほとんど売れませんでした。現在ではわが社の売上No.1です。何か新しいチャレンジを夢を持ってやらないと出版はできませんし、この先の日本もよくなってはいかないと思います。

最近社員によく言っている言葉があります。大前研一さんの言葉です。それは人間の変わる方法は3つしかないとい

うことです。

まず一つは時間配分を変えることです。つまり今使っている時間配分を見直して使いたい時間を捻出することです。例えばお酒を飲む時間を少なくしてランニングするなどです。次は住む場所を変えることです。住む場所が変われば環境が変わりますから人間が変わるということです。最後は付き合う人を変えることです。付き合う人を変えれば変えた分だけ新たな出会いがあります。

もっとも無意味なことは、決意を新たにすることだそうです。私も過去はよく決意を新たにいたしました。が何も変わりませんでした。なかなか住む場所は変えられませんが、残りの2つは意識すれば変えられますので、新たなことをやって日々変わってまいりたいと考えております。特に私たちが取り上げている趣味という分野は、この中の時間配分を変えることによって、自分の生活の潤いが変わったり、付き合う人が変わったりいたしますので、是非皆様方も今までしてこなかったことに改めてチャレンジして、人間が変わるきっかけにしてください。

本日は出版業界の現状とその中でわが社の考え方や仕事の取り組み姿勢をお話させていただきました。何か一つでも参考にさせていただけると幸いです。

本日はありがとうございました。



本日の講演の表題です

出席率報告 2月6日(日) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
66名	56名	8名	0名	2名	0名	87.50%



## 2月6日 IM懇親会会場スナップ①



お勉強の時間が終わりました、ここからはお楽しみの懇親会です。まずはじめに地区大会のPRがありまして、下村正IM実行副委員長が開会のことばを述べました。引き続き東郷治久つくば学園RC直前会長の乾杯のご発声で懇親会スタートです。



地区大会のPRをする  
地区大会実行委員の皆様



開会のことばを述べる  
下村正IM副実行委員長



乾杯のご発声をする東郷治久  
つくば学園RC直前会長

ここからは懇親会の模様をご紹介します。来賓の皆様や第6分区の皆様には、懇親会にも多数お残り頂きました。講演の中でも新しい仲間を増やしてくださいというお話がございました。是非とも懇親会の責でロータリーの友情を深めて新しい仲間をおつくりください。





## 2月6日 IM懇親会会場スナップ②



懇親会のアトラクションは劇団MMCの皆様に盛り上げていただきました。次年度IMホストクラブの土浦RCの皆様にお渡しし、最後は「手に手つないで」を斉唱して終了いたしました。



## プログラム予告 2月 世界理解月間



2月17日 ディスカッション例会 「各業界の今後の見通し」  
2月会員誕生祝

2月24日 職業奉仕報告卓話 「小関迪会員」



### 4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい  
<http://www.46gama.com/>

### 編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●2月13日地区チーム研修セミナーに参加してまいりました。地区に出向するのは初めてですので右も左もわからない状況での参加でした。

地区に参加すると情報が早く入手できることにまず驚きました。大木勲ガバナーエレクトから来年度のR1テーマや地区の重点事項などこの時期にお話がいただけるのですね。今年クラブ会報委員長をさせていただき、年度初めの会報を作るうえでロータリージャパンや第2820地区のHPなどから情報を集めました。地区役員になっているとこんなにスムーズに入手できることを知りました。

卓話の中で出向者報告があっても一般メンバーにとって有用な情報がいち早くご提供できるのではないかという思いになりました。

●話は変わりますが、民主党が今年の統一地方選挙での候補者の擁立に苦慮しているとの記事が掲載されておりました。今民主党の公認で選挙に出ても勝てる見込みが薄いということのようです。

ここで考えさせられるのが政党の意味です。政党とは同じ志や政策実現を志す政治家同士が集まって結成された組織だと思います。

政治家の方々も選挙に勝つことは重要だと思いますが、同じ政策を掲げているのか？一緒に行動できるか？などを判断して政党に所属してほしいですし、政党自体もきちんと政策を示し、それを実行するために活動してほしいものです。

河村たかし名古屋市長が減税日本という地方政党を結成し、再選されました。既存政党からは独裁政治だなどの批判がありますが、市長には任期があります。今回は河村市長の政策が市民に評価されたということです。評価は自己評価ではなく、他者評価だということを経存政党の皆様には改めて思い出していただきたいものですね。

例会日 木曜日 12:30～13:30  
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」  
つくば市吾妻1丁目1364-1



### 友好クラブ

京都山城ロータリークラブ  
(第2650地区)



### つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email:gakuenrc@46gama.com